

マグミット錠 100mg
 マグミット錠 200mg
 マグミット錠 250mg
 マグミット錠 330mg
 マグミット錠 500mg

【この薬は？】

販売名	マグミット 錠 100mg Magmitt Tablets 100	マグミット 錠 200mg Magmitt Tablets 200	マグミット 錠 250mg Magmitt Tablets 250	マグミット 錠 330mg Magmitt Tablets 330	マグミット 錠 500mg Magmitt Tablets 500
一般名	酸化マグネシウム Magnesium Oxide				
含有量 (1 錠中)	100mg	200mg	250mg	330mg	500mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、制酸剤、下剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、胃内で胃酸を中和して制酸作用を示します。また、腸内で浸透圧により水分を増やし、腸壁を刺激して間接的に腸の動きを亢進することで排便を促します。
- ・次の目的で処方されます。

下記疾患における制酸作用と症状の改善

胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）

便秘症

尿路尿酸（にょうろしゅうさん）カルシウム結石の発生予防

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心機能障害のある人
- ・下痢のある人
- ・高マグネシウム血症の人
- ・腎臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔制酸剤として使用する場合〕

一日量	酸化マグネシウムとして0.5～1.0g
飲む回数	1日数回に分けて飲みます。

〔緩下剤として使用する場合〕

一日量	酸化マグネシウムとして2g
飲む回数	1日2gを食前または食後の3回に分けて飲むか、または、寝る前に1回飲みます。

〔尿路尿酸カルシウム結石の発生予防に使用する場合〕

一日量	酸化マグネシウムとして0.2～0.6g
-----	---------------------

通常、1歳以上の小児の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔緩下剤として使用する場合〕

一日量	酸化マグネシウムとして 体重1 k g あたり 20～80 m g
飲む回数	食後の2回に分けて飲みます。

1歳以上の小児は1日体重1 k g あたり 40 m g を開始用量の目安とします。

●どのように飲むか？

制酸剤、緩下剤として使用する場合は、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

尿路尿酸カルシウム結石の発生予防に使用する場合は、多量の水とともに飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・血清マグネシウム濃度が高くなるにつれ、深部腱反射の消失、呼吸抑制、意識障害、不整脈、心停止などがあらわれることがあります。
- ・これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。
- ・大量に服用したあと間もない場合には、吐かせて胃の洗浄を行います。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用により、高マグネシウム血症があらわれることがあります。特に、便秘症の人では、腎臓の機能が正常な場合や通常量以下でも重篤な転帰をたどる例が報告されています。
- ・必要最小限の使用にとどめてください。
- ・長く使用している人や高齢の人では、血清マグネシウム濃度を測定するために血液検査が行われることがあります。
- ・嘔吐、徐脈、筋力低下、傾眠などの症状があらわれた場合には、使用を中止し、ただちに受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・大量の牛乳やカルシウム製剤はこの薬に影響しますので、一緒に飲むことは控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
高マグネシウム血症 こうマグネシウムけっしょう	むかむかする、吐き気、もどす、口・のどの渇き、脱力感、立ちくらみ、めまい、脈が遅くなる、脈がとぶ、息切れ、意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下、皮膚が赤くなる、筋肉に力が入らない、ぼんやりする、息苦しい、胸がドキドキする、胸の痛み、気を失う、意識がなくなる、呼吸停止

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、立ちくらみ
頭部	めまい、意識の低下、考えがまとまらない、ぼんやりする、意識がなくなる
口や喉	もどす、吐き気、口・のどの渇き
胸部	むかむかする、吐き気、息切れ、息苦しい、胸がドキドキする、胸の痛み、呼吸停止
腹部	むかむかする、吐き気
手・足	脈がとぶ、脈が遅くなる
皮膚	皮膚が赤くなる
筋肉	筋肉に力が入らない
その他	判断力の低下、気を失う

【この薬の形は？】

販売名	マグミット錠 100mg	マグミット錠 200mg	マグミット錠 250mg	マグミット錠 330mg	マグミット錠 500mg
PTP シート					
形状	円形の素錠 	円形の素錠 	円形の素錠 	円形の素錠 	円形の素錠
色	白色	白色	白色	白色	白色
直径	6 mm	7.5mm	8mm	9mm	10.5mm
厚さ	3.4mm	3.4mm	4.4mm	4.7mm	5.1mm
重さ	120mg	232mg	300mg	396mg	600mg
識別コード (PTP シート)	なし	KCI 1	KCI 12	KCI 11	KCI 5
本体表示	マグミット 100	マグミット 200	マグミット 250	マグミット 330	マグミット 500
文字色	橙	紫	緑	青	ピンク

【この薬に含まれているのは？】

販売名	マグミット錠 100mg	マグミット錠 200mg	マグミット錠 250mg	マグミット錠 330mg	マグミット錠 500mg
有効成分	酸化マグネシウム				
添加剤	結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、クロスポビドン、ステアリン酸カルシウム、アセスルファムカリウム	結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸カルシウム			

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・ 空気中で湿気および二酸化炭素を吸収するので注意してください。
- ・ 湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：マグミット製薬株式会社 (<https://magmitt.com/>)

おくすり相談窓口

電話：0120-300-163 087-891-1386

受付時間：9時～16時30分

（土日、祝日及び弊社休業日を除く）